

初
小學文章讀本
卷五

T1A1

10

To22

戸川新太郎編 二級用本

初等小學文章讀本卷五

明治十五年六月出版 文榮堂

初等小學文章讀本卷之五目錄并凡例 二級用本

近體文第三 記十三題 三十一首 同第四 論十二題 三十二首

日用文第一 社復雜式 同附錄 送狀請取并各物書式

此以下題ヲ與ヘ、自ラ作ルヲ習ハシムヘシ、故ニ
文亦篇々題ヲ附ス、且二三異文ヲ載セ、變化ヲ知
ラシム○從前載スル所、片言隻辭、未成ノ文多シ
此ヨリ以下、皆全備ノ文ヲ載ス、○往復雜式ハ、口
上書ニ、發端ノ語ヲ加ヘ、文少シク長キヲ載ス、此
体最モ日用ニ便ナリ、熟習ヲ要ス、○附録各物書
式極メテ多シ、是纔ニ一端ヲ示ス、餘ハ推テ知ルベシ、

初等小學文章讀本 卷五 目錄

教授大略

近体文ハ此ヨリ書取ヲ止メ、口述シテ書セシム
ヘシ、若カ未ダ能ハザレハ、務メテ、填字ヲ做サシ
ムベシ、○第三四卷ニ在ル、文ニ就キ、頭字ヲ取り
題トシ、其下文ヲ空ニ書テ、答ヘシムベシ、○記論
ノ別ヲ、益解了セシムベシ、○日用文ハ、未ダ習慣
モ熟セズ、故ニ書取ヲ宜トス、○書類各法書式ハ、
常ニ習熟セシムベシ、文ヲ做シ得ルモ、其書法ヲ
知ラザレバ、用ヲ成サス、○受取ハ勿論郵便書、令
時盛ニ行ハレハ、尤常ニ書習ハシムベシ、

初等小學文章讀本卷之五

浪華 戸川新太郎 編

近體文第三記

机ヲ記ス

机ハ、縦短カク、横長ク、形方ニシテ、四ノ長脚アリ
テ、之ヲ支持セリ、
机ハ、木ニテ製シ、黒ク色附ヲ爲ス、前ニ抽匣アリ
テ、筆墨類ヲ納ル、ニ供ス、
机ハ、讀書習字ニ必用ノ器具ニシテ、其製横長シ
テ、四脚アリ、低キハ尺餘、高キハ三尺ニ及ブ、

本ヲ記ス

本ハ書籍ノ名ニシテ、其製紙ニ印刷ニ表紙ヲ付シ、之ヲ糸ニテ綴レリ、

本ハ紙ヲ以テ製セリ、通常縦長ク、横短カシ、之ヲ豎本ト云フ、又横本アリ、形横長ナリ、

本ハ人ニ益アル事ヲ記セシ者ナリ、又繪ヲ加ヘタルモアリ、共ニ見テ、人智ヲ開クモノナリ、

筆ヲ記ス

筆ハ獸ノ毛ヲ縛リ、之ヲ竹ノ管ニスゲタリ、其形チ、細ク長シ、

筆ハ、細長キ形チニシテ、習字ノ用具ナリ、種々ノ獸毛ニテ、之ヲ作り、竹ノ柄ヲ付タリ、

筆ハ、書畫ヲ寫スニ用ユル具ニシテ、其先ハ、羊狸等ノ毛ニテ製シ、其軸ハ、竹木ノ類ニテ作レリ、

硯ヲ記ス

硯ハ、習字用具ノ一ニシテ、種々ノ石ヲ彫リテ、中凹ニ作りシ者ナリ、

硯ハ、石ニテ作りシ者ニシテ、其形、長方形ナリ、此レ墨ヲ磨ル、必用ノ具ナリ、

硯ハ、石ニテ製ス、陸ハ平ニシテ、海ハ深シ、深キ處

ハ墨汁ヲ蓄ヘ平カナル處ハ墨ヲ磨ス

紙ヲ記ス

紙ハ色白クシテ薄シ、大小長短一ナラス、此書畫ヲ寫シ、本ヲ作スニ用ス。

紙ハ楮ノ皮ヲ以テ製セシ者ニシテ、薄ク且ツ白シ、障子襖ノ類ニ貼リテ、風ヲ防ク。

紙ハ厚薄大小一ナラス、通常ハ白色ナレド、深紙ニ至テハ、青、黃、赤、紫等種々アリテ、甚美ナリ。

扇ヲ記ス

扇ハ竹ヲ以テ骨トシ、之ニ紙ヲ貼リシ者ナリ、其

狀本狹ク、末廣シ、故二人末廣ト云フ。

扇ハ親骨ハ太ク、子骨ハ細ク、紙又ハ絹ヲ貼リ、書

畫ヲカキテアリ、能ク風ヲ起シ、暑ヲ拂フ。

扇ハ禮式ニ用ルモノニテ、竹骨ニ紙絹類ヲ張レ

リ、之ヲ墨メハ狹ク、延セハ廣クナルナリ。

團扇ヲ記ス

團扇ハ扇ノ種類ナレド、其形大ニ異ナリ、其風ヲ

起シ、暑ヲ拂フ功ハ、扇ヨリモ大ナリ。

團扇ハ竹ノ中程ヨリ上ヲ、細ク割リ廣ゲテ、紙絹

ハ類ヲ張シ者ニテ、其形團圓明月ノ如シ。

團扇ハ扇ノ如ク禮式ニ用ヒス然レ其書畫ヲ
カキ飾ヲ爲スハ一ナリ女子ノ用品ハ最美ナリ

煙管ヲ記ス

煙管ハ煙草ヲ喫ム器ニシテ本末ハ銅真鍮ヲ以
テ製シ之ニ竹管ヲ嵌メシ者ナリ

煙管ハ細長キ狀ニシテ吸口ト先ト金ニテ作
リ中間ハ竹管ナリ此煙草ヲ喫ム具ナリ

羽織ヲ記ス

羽織ハ上ニ着ル物ニシテ其丈着物ヨリ短カク
仕立方モ少シク異ナリ

羽織ハ絹木綿又毛織物ニテ作ル其製着物ニ似
テ短カク且襠ナシ但襟ニ紐アリ之ヲ結ブ

袴ヲ記ス

袴ハ下ニ穿クモノニシテ多ク折目アリ又腰
板アリ之ヲ腰ニ當テ紐ヲ前ニ結ブナリ

袴ハ禮服ニ用フ其狀底ナキ袋ヲ二ツ合セタル
如シ仙臺平小倉等ニテ作ル下ニ穿ツモノナリ

袴ヲ記ス

袴ハ衣類ノ一ニシテ裏ト表ト合セタル者故ニ
此名アリ絹木綿等ヲ以テ之ヲ作ル

袷ハ、裏表合セタル、着物ニシテ、夏初秋晩ニ着用ス、暑寒ノ時ノ、着類ニ非ルナリ、

帯ヲ記ス

帯ハ、小倉織博多織等ニテ、仕立ツル者ニテ、其狀細ク長シ、着物ノ上ヲ纏ヒ、約ムル者ナリ、帯ハ、腰ヲ纏ヒ、着物ヲ約スル者ニシテ、形チ細長シ、其中男帯ハ、狭ク、女帯ハ、廣キモノナリ、

近體文第四論

太陽ノ論

太陽ハ、日ノ一名ニシテ、其體圓クシテ、大ナルヲ、地球ヨリ、百倍セリ、

太陽ハ、朝東ニ出テ、暮西ニ入ル、故ニ晝ハ見ヘテ、夜ハ見ヘザルモノナリ、

太陽ハ、常ニ世界ヲ照シ、万物ニ、光リト温トヲ與フ、故ニ世界ニ、太陽無ケレバ、万物生ヲ遂ゲズ、

月ヲ論ス

月ハ、太陽ノ一ニシテ、夜間ニ光ヲ發ス、此光ハ、實ハ太陽ニ照サレ、反射スルナリ、

月ハ、其光ニ盈缺アリ、舊曆毎月ノ初ヨリ、纖々ト

光リヲ發ツ、是ヲ新月ト云フ、

月ハ、舊曆十五日ノ夜、其光リ盈満ス、之ヲ稱シテ満月ト云フ、夫ヨリ漸ク缺ケ、晦日ニ至テ全ク滅ス、

星ヲ論ス

星ハ、夜中光リヲ放ツ者ニシテ、日月ヨリハ小サク、且多ク見ユルモノナリ、

星ハ、小サク見ユレドモ、實ハ大ナルモノナリ、但距離ニ遠近アルニヨリ、一樣ニ見ユルナリ、

星ハ、百千モ、天ニ懸ルト雖モ、約シテ云ヘバ、二種アリ、恒星ト、惑星トナリ、

風ヲ論ス

風ハ、春時多ク東方ヨリ吹キ來リ、秋時多ク西方ヨリ吹キ來ルモノナリ、

風ハ、夏ハ熱ク、冬ハ殊ニ寒キモノナリ、熱キハ、多ク南ヨリ吹キ、寒ハ、多ク北ヨリ來ル、

風ハ、能ク諸物ヲ吹キ揺カス、微ナル時ハ、塵埃ヲ飛シ、大ナル時ハ、樹ヲ拔キ、屋ヲ發ス、

雲ノ論

雲ハ、風ニ隨テ、恒ニ空中ヲ往來シ、能ク雨ヲ降スモノナリ、其色白、黒、青、黄、一ナラズ、

夏ノ雲ハ、突兀トシテ、高ク立列ヒ、奇妙ナル峰ニ、
似タリ、故ニ詩ニ、夏雲多奇峯ト云ヘリ、
冬ノ雲ハ、常ニ黯淡トシテ、暗ラク、時ニ雪ヲ降ス
モノナリ、

雨ヲ論ス

雨ハ、天ヨリ降下リテ、草木諸物ヲ、滋養スルモノ
ナリ、若クシク、雨降ラザレバ、草木乾枯スルナリ、
雨ノ久シク、降り續クモノヲ、名ツケテ、霖雨ト云、
俗ニ所謂、長雨ノトナリ、
雨ハ、毎年七月頃ニ、降り續クモノナリ、之ヲ梅雨

ト云フ、梅ノ黄バミ、熟スル時、降ル故、此名アリ、

露ヲ論ス

露ハ、其色白ク、透邇リテ見ヘ、其状ハ、顆々均圓ニ
シテ、恰モ、真珠ニ似タルモノナリ、
露ハ、夏ノ頃ヨリ、置初メ、秋ノ夜ニ至リテ、最モ繁
シ、冬ハ、更ニ無キモノナリ、
露ハ、草木ノ葉先ニ垂ル、草木常ニ、其滋養ヲ受ク、
異國ニ、年中雨無ク、露ノミニテ、草木ヲ養フ、地
アリト云ヘリ、

霜ヲ論ス

霜ハ夏時無キモノニシテ、秋ノ末ヨリ、置初メ冬ノ曉方ニ至リ、最モ多ク、布クモノナリ、霜ハ能ク草木ノ葉色ヲ變ジテ、紅黃ニ染ムル者ナリト古来云傳ヘリ。

霞ノ論

霞ニ種々アリ、春霞、秋霞、朝霞、夕霞等是ナリ、其色モ赤キアリ、紫ナルアリテ、一定ナラス、霞ハ日光相映ジテ、發スル者ニシテ、彩色美麗ナリ、好テ山腰ニ横ハリ、晴野ヲ籠ムル者ナリ、

雪ノ論

雪ハ冬月ニ多シ、又北地寒國ニ多シ、高山ノ如キハ、四時共ニ雪ヲ戴クモノアリ、雪ハ國ニ因リ、甚ク不同アリ、少ナキハ、終年降ラザルアリ、又多キハ、積テ一二丈ニ至ル者アリ、雪ヲ顯微鏡ニテ見ル時ハ、其形狀種々アリテ、甚美麗ナリ、且其花皆六出ヲ爲ス、奇ナルヲ甚シ、

霰ノ論

霰ハ大ナル者ヲ雹ト云フ、此モノ久シク降り續クナシ、大抵十五分間位ヲ最長シトス、霰ハ降ルヲ暫クナレバ、分量ハ非常ニ多キモノ

ナリ、且霰ノ降ル前ハ、往々雷鳴スルナリ。

氷ノ論

氷ハ、水ノ寒ニ遇テ、固マリシモノナリ、故ニ、温熱ニ逢ヘバ、又本ノ水トナルナリ。

氷ハ、昔寒中ニ取り、深谷ニ蓄ヘ、夏取出シ、食セシガ、今ハ、炎天ト雖モ、常水ニテ、暫時ニ之ヲ製ス。

日用文第一 往復雜式

春初梅ヲ贈ル文

春初、益々清福を蒙り、梅の花は、開き、供へ

枝邊上仕、は、高き、下、の、大、き、な、花、を、見、る、に、

お、心、鬼、角、の、神、様、の、御、心、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、

同返事

お、誦、の、貴、命、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、お、心、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、

お、心、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、お、心、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、

春日不沙汰ヲ謝ス文

春日、お、心、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、お、心、を、お、祈、り、申、上、せ、ま、す、と、申、す、に、

阪平の庄免可成り右に於て家出はせ給ふ
喜喜如何は書く存心は海に有る一室を成る事
酒をて飲せ多仕奉り海に有る事也

同返事

此の如く及都の事も心も通ひては
も心も通ひては事も通ひては
是より有る事も通ひては事も通ひては
高き事も通ひては事も通ひては

花見二詩一文

花見の心も通ひては事も通ひては

暇は自悦みては仕度い言は難い事也
遠より言も入りの事も通ひては事も通ひては
しは事も通ひては事も通ひては

同答

是も去指園の教由は如く事色も催しは事も通ひては
みは事も通ひては事も通ひては
急便も通ひては事も通ひては
引は事も通ひては事も通ひては

上京ノ日限ヲ問合ス文

是は事も通ひては事も通ひては

是は事も通ひては事も通ひては

也十五歳故仕仕御... 限は初め...
以て瑞事お個人... 御文極...
回す... 下... 御... 限... 御... 御...

同返事

手紙指是... 御... 御... 御...
上... 御... 御... 御...
有... 御... 御... 御...

夏初人ヲ問フ文

向者... 御... 御... 御...

23

御... 御... 御... 御...
御... 御... 御... 御...
御... 御... 御... 御...

同答

御... 御... 御... 御...
御... 御... 御... 御...
御... 御... 御... 御...
御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御...

舊上巳女伴ヲ招ク文

御... 御... 御... 御...

あつた遊ひは世にあらざる

今もあつたの初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

同返事

昔の初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

あつた初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

箏箏ヲ贈ル文

箏箏ヲ贈ル文 箏箏ヲ贈ル文 箏箏ヲ贈ル文

あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

あつた初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

同返事

あつた初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

あつた初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

舊端午初節句ヲ祝フ文

あつた初言句に付難き物 春の初言句に付
あつた初言句に付難き物 春の初言句に付

秋風は後一人形に思はれひして進敵は
今も古も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり

同返事

梅雨の初音のひるに今も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり
梅雨の初音のひるに今も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり

梅雨中借書文

梅雨の初音のひるに今も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり

一
新

秋風は後一人形に思はれひして進敵は
今も古も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり

同返事

梅雨の初音のひるに今も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり

秋日水ヲ贈ル文

秋風は後一人形に思はれひして進敵は
今も古も瑞陽の音のしぬ音成りて軍人形筋のひる
何れも好まざるに仕はるる光面なり

吾もいゝ水引若狭山行男を尋てて其の信
鬼角跡其意の事信は其康を拜受の如杜高上信願
る別不水荒道段の如は誠におの地獄にや

同返事

芳礼伏候也冷秋甚暑也事は言同なり候も其難乃
水多分場難有候事也其言此礼可なり
跡若狭廻り日書言信願を信守於玉指等々水を塊
は投與せ候り候事目一爽快と云ふ

中秋月ヲ賞ス文

今も今も昔も萬中秋の如きもの故信例も其事尋て

一合備しは昔事なり其意は其事なり
其意の今昔の古中然るも昔の如く其意は
其意は其意の如く其意は其意なり

回答

は書一熱ある御事其意は其意なり其意は其意なり
其意は其意の如く其意は其意なり
其意は其意の如く其意は其意なり
僕は同如く其意は其意なり其意は其意なり

茄子越瓜ヲ贈ル文

甚好車なる者そ其意は其意なり其意は其意なり

新子然のふく府市(京)の山花(花)をよむ

同復文

山花(花)のふく府市(京)の山花(花)をよむ
山花(花)のふく府市(京)の山花(花)をよむ

箕面山楓見ニ誘フ文

箕面山の楓(楓)をよむ
箕面山の楓(楓)をよむ

同返事

箕面山の楓(楓)をよむ
箕面山の楓(楓)をよむ

山

箕面山の楓(楓)をよむ
箕面山の楓(楓)をよむ

魚ヲ送ル文

今(今)の鯛(鯛)をよむ
今(今)の鯛(鯛)をよむ

右返事

今(今)の鯛(鯛)をよむ
今(今)の鯛(鯛)をよむ

細事の上納金一紙を解魚沼山に下納金に
由るに申付候事は是れ申付仕度
海防に存心は候様物なれども
下納金申付候事候へ

冬日入ヲ候スル文

短くは申候事候用は候事候事一
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事

同返事

申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事

歳暮物ヲ贈ル文

申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事
申付仕度候事候事候事

日用文附録

送状類

覽

一紙包

三箇

右陸運倉社を以て送る也

光

一金百五拾圓也

右郵便局替りて送る也

記

一備前醤油

八拾樽

右平八船を運送致し也

送り状

一新酒

三百五斗詰

右三菱漁船を運送仕也は送る也

送り状

一唐綿

三拾疋

右便船を以て送る也船の向は後送る也

送り状

一上茶

五百斤

右茶を以て送る也

請取類

覽

一合圓五拾字也

右布代合圓五拾字也

覽

一橋幣五圓拾字也

右酒辛年代幣五圓拾字也

覽

一合圓五拾字也

右酒稅券代合圓五拾字也

記

一筆拾字 五擬

右酒稅券代合圓五拾字也

記

一杉五拾字 拾字 松二圓刻 五丁

右酒稅券代合圓五拾字也

記

一山五拾字

一平凡 子板

右酒稅券代合圓五拾字也

口上目録其他一切書式

使呈上

送の程並に之書後中事の
らうは若長送海にも
い月廿日 山中 勘吉
園新 松茂殿

口渡

来十月廿日書報息渡に勤
百已正書若長送海に勤
取は若長送海に勤
十月廿日 門徒 宗三郎
榎本 宗三郎

換札

来三月廿日書文一七の併り
お書きの書は送若長送海に勤
十月廿日書文一七の併り
十月廿日 門徒 宗三郎
榎本 宗三郎

免

一 山字 禅法 禅院 或は
一 山字 空保 禅院 三在
古長送海に勤
九月廿日 榎本 宗三郎
池内 經之助

記

一 金三國 老徳也
古長送海に勤
五月廿日 榎本 宗三郎
福園 富太郎

免

一 山字 布告 幸徳
古長送海に勤
十月廿日 榎本 宗三郎
高田 宗三郎

記

一 山字 一書 五月
一 山字 一書 十月
古長送海に勤
十月廿日 榎本 宗三郎
榎本 宗三郎

尾張妻船中村
 寺尾
 木下藤吉殿
 玉急密報
 此表面は宿所姓
 名を限り認むべし
 郵便はかき

当上お身仕仕上
 仕上子連
 可仕上

高上先生様
 玉急下
 仕上

高上先生様
 玉急下
 大市月廿日

星上
 東脩
 山村松平

法後保
 今金急務

東

進上
 藤葉
 寺尾
 加藤清

寺上
 華葉
 寺尾
 山村松平

寺上
 藤葉
 寺尾
 加藤清

寺上
 藤葉
 寺尾
 加藤清

鯛
 寺尾
 川上藤吉

法後保
 紅本海
 寺尾
 福富長三

法後保
 紅本海
 寺尾
 福富長三

法後保
 松魚
 寺尾
 高山堂
 玉急下
 結目藤吉

各品書式雜纂 并名稱數(書方)

藤不 藤葉 藤葉 藤酒 藤魚 藤青 藤紙

藤蛋 藤巾 藤箱 藤子拭 藤子袋 藤子袋

藤扇子 ○土產 固產 野產 ○野品 ○野味

此他大抵其物ノ名ヲ書スベシ一印産字書セ
ガルモ可ナリ

呈上 献上 晋上 進上 ○御祝 神祝

奉祝 奉賀 祝儀 賀儀 ○年玉 歳言

歳末御祝儀 中元御祝儀 ○暑中御祝儀

寒中御祝儀 正月御祝儀 正月御祝儀

東儀 月謝 花謝 薄儀 誂儀 御祝儀

八口料 極業料 飯料 ○古珍老料 古業礼

古業料 古業代 藥價 ○古西料 古業礼

古酒料 古酒肴料 古菓子料 古菓子料

古常世料 古羽織袴料 古産着料 ○古飾別

○奉納 奉献 献納 寄進 寄附

○古御饗料 古神酒料 古納糖料 古名曲料

古新糖料 古糖料 古札料 古守料

○古佛飯料 古佛物料 古佛經料 古香花料

古佛前 古香奠 古花料 古布施 古腕燭

施餼鬼料 ○志 寸志 心什 ○茶代 酒代

一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。廿。卅。卌。下。億。兆。金。率。序。
 ○圓。錢。釐。毛。△兩。分。朱。共金銀 ○丈。尺。寸。分。共尺 ○
 石。斗。升。合。勺。抄。撮。共升 ○貫。石。分。釐。毛。絲。忽。△斤。兩。
 朱。共秤 ○町。反。畝。坪。合。共田高 ○里。町。間。共里 ○軒。
 戶。棟。家 ○卷。冊。帙。部。編。共書 ○本。枝。管。對。共筆 ○牧。
 葉。張。帖。束。紙 ○挺。笏。墨 ○面。鏡。硯。及 ○脚。札。又 ○通。封。
 書。面 ○封。金 ○卷。卷。物 ○幅。軸。對。掛。物 ○本。握。柄。扇
 團 ○條。筋。帶網 ○樽。壺。瓶。罍。酒類 ○領。具。襲。衣類 ○
 反。疋。絹細 ○本。帶。地 ○卷。枚。把。綿真 ○足。履。物。袋 ○枚。
 專。筵。及。一 ○張。蚊。帳 ○棹。本。荷。箬筒長持 ○架。衣柄
 切。數。物

掛 ○雙。片。枝。屏風 ○組。提。重。重箱 ○對。片。枝。鉤子燭
 類 ○瓶。口。壺。壹花瓶 ○具。對。烟草 ○基。燈臺及 ○張。提。
 行。燈。燭 ○斤。挺。蠟。燭 ○本。傘 ○丁。駕 ○輛。車 ○艘。舟
 籠。裝 ○匹。鳥。獸 ○木。竹。材 ○坪。枚。板 ○荷。一切荷 ○羽。鳥
 ○尾。魚 ○株。草。木 ○東。薪。葉 ○把。野。菜 ○折。紙。及 ○
 連。錫。鯉。節 ○所。地。場 ○何。十。人。前。膳枕茶具茶梳
 右其物二應シ數字ヲ配
 ○國。鳴。山。郡。區。町。村。人。位。軍。隊。番。級 ○年。月。日。時。方。
 角 ○間。席 ○車。包。荷 ○樽。籠。鉢。壺。箱。袋。桶
 右八直千二數字ヲ加ヘテ事ハ

等初
小學文章讀本卷之五 終

明治十五年五月十八日
同 六月

版權免許
開版發行

編輯人

大阪北區編笠
町十貳番地

大阪府上城

戸川新太郎

出版人

大阪東區南久寶
寺町四丁目八番地

大阪府平民

前川善兵衛

三府發賣書肆

東京市中兵衛	栗佐糸木惣四郎	大阪柳原喜兵衛
東京牧野善兵衛	栗邨上勘兵衛	大阪吉岡平助
東京須原鐵二	大阪松邨九兵衛	大阪前川宗七
東京吉川半七	大阪岡田茂兵衛	大阪中尾新助

社 會